

児童発達支援自己評価表

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 6年 3月 1日

事業所名 チャイルドサポートもりやま

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	13	0	児童が増えた分、施設も広く使用している。 訓練室の使い方随時工夫したり調整したりしている点がある 歩き回って十分なスペースはある	
	2	職員の配置数は適切であるか	12	1	十分見守りが出来ている	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	12	1	壁に貼っている注意などは、情報量が多すぎて目に入りにくそう 子どもの目に止まりやすいような絵や写真を取り入れている 玄関前に段差がある 部屋の扉が開閉されやすく、勝手に出してしまう可能性がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	12	1	子どもにあったおもちゃを制作している 振り返りまで全員が参画できれば良いと思う。 日々清掃に心がけ、ゴミの処理方法も工夫している	施設が広いので清掃をこまめに 行き届くよう今後工夫をしていく
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	6		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	3		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	7		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	6		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	13	0	他職種からの研修を受け、支援の質向上に努めている。 内部が多いので、外部もしたい 勉強会等もあるため、学ぶ機会がある。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	11	2	保護者のニーズに添った支援が出来るよう話し合っている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	7	ツールを使用するより、職員同士で分析を行っている	今後、客観的評価できるような ツールを使用したい。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	5		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	11	2		

適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	6	定期的に見直していく必要があると思う。	保育士がメインな事が多いので分 担しながら負担にならないように 工夫を行う
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	3	利用児にあった色々なプログラムを提 供している 内容に偏りが出ないようにはしている が、内容の充実が必要だと感じる。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせせて児童発達支援計画を作成 している	9	4	利用児が少なく集団は難しいが、多く のスタッフが関われるようにしている。 現在、利用者が一名の日も多い。	

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	5	担当スタッフ間では共有している。	長期休暇は困難だが工夫をして行えるようにしていく
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	9	必須ではない 送迎に出る為行えていない 振り返りまでは行えていないが、気づいた事の共有は都度行っている 共有・周知する事は全員把握できるようノートにまとめている	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	4	出来ていない日もある 個別支援計画をもとに記録が取れているかは不明 記録をとる事は出来ているため検証に活かしたい。 支援の検証・改善に取り組んでいきたい	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	12	1	スタッフでモニタリングを行い、成長に見合った支援が出来るよう努めている。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	6	担当者会議の実施がない	相談員へこちらからも連絡をとり開催の依頼をする
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	6		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	9	4		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	11	2		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	6		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	6		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	9	他事業所とは連携出来ていない	連携を図り、助言等受けて支援につなげたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	11	特に交流はない 事業所として、交流の機会は持っていない。	まずは健常児も利用する施設や公園での活動を行っている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	10		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	13	0	都度、利用児の様子や成長について話す時間を設けて伝えている。 送迎時に毎回情報を共有している。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	3	10	参加者がいない…	今後は内容等を再度周知しながら参加していただけるよう促す
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	4		

保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10	3		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11	2	保護者懇談会を実施している 面談をして、保護者の話をしていた事を全体に共有していた	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	7	親子交流会のイベントに声掛けしている	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	11	2	その都度、周知・スタッフ間で検討し、対応している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	3	チャイルド通信にて情報提供を行っている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	13	0	保護者の意向に沿って対応している 個別ファイル等は使用したらすぐに片づけるようにしている	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	12	1	ファイルやノートの活用 発言内容や言葉選びには注意している。 把握している情報から意思疎通を意識するようにしている	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	11	ハロウィンやクリスマス会にて地域交流を図った。 行事への参加はあるが、こちらからの招待はなかった。 地域の行事に参加したことはある	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	7	実施しているが、もう少し回数を増やして行う必要がある	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	7	防災バッグの見直しや避難訓練を定期的に行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	11	2	予防接種までは確認できていない。 事前に情報を確認している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	11	2	アレルギー時の対応は、頭に入れて対応している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11	2	定期的にヒヤリハットの周知と振り返りを行って、防止に努めている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11	2	虐待の内容等の研修を受け、対応に配慮している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	6		

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月 1日

事業所名 チャイルドサポートもりやま

保護者等数(児童数)

3回収数

割合 60%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3					
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	3					
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2			1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3					
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	3					
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3					
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3					
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	3					
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1			2		
保護者 への 説明 等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3					
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	3					
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	3					
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	3					
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3					
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1			2		
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	2			1		

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2			1	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3				
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	3				
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか				3	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1			2	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	3				通所するようになって遅くなったように感じました。今後もたくさんの経験・体験をしていただけるように努めます
	23	事業所の支援に満足しているか	3				